



宮城県仙台西高等学校

地学部

宮城県仙台市太白区御堂平5-1

「地球温暖化の影響は仙台上空にも及んでいるか
—仙台西高裏山の崖の斜面崩壊を予測する方法について—」



Action

宮城県仙台西高等学校・地学部・災害気象研究グループは地球温暖化という環境問題について、これまで「地球温暖化の影響は仙台上空にも及んでいるか」というテーマで平成24年から研究を続けてきました。気候変動を研究することはかなり難しく、サブテーマを何回か変更しながら研究を続けてまいりました。近年、雨の降り方が以前より激しくなり、「ゲリラ豪雨」などの語句が使われるようになって来ました。仙台西高等学校は、周囲が急峻な崖に囲まれて立地しています。これまで3回大きな斜面崩壊が発生しました。昨年度より、降水量と斜面崩壊の関係について調査してきました。崖の地質、土壌水分率、積算雨量、単位時間降水量などを精査すれば、もし同じ気象条件になった場合、斜面崩壊発生を予測し、警報を発信できるのではないかと考え、測定を続けています。将来は周辺地域まで範囲を拡大していきたいと考えています。